

東北地方 1か月予報

(9月4日から10月3日までの天候見通し)

平成16年9月3日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

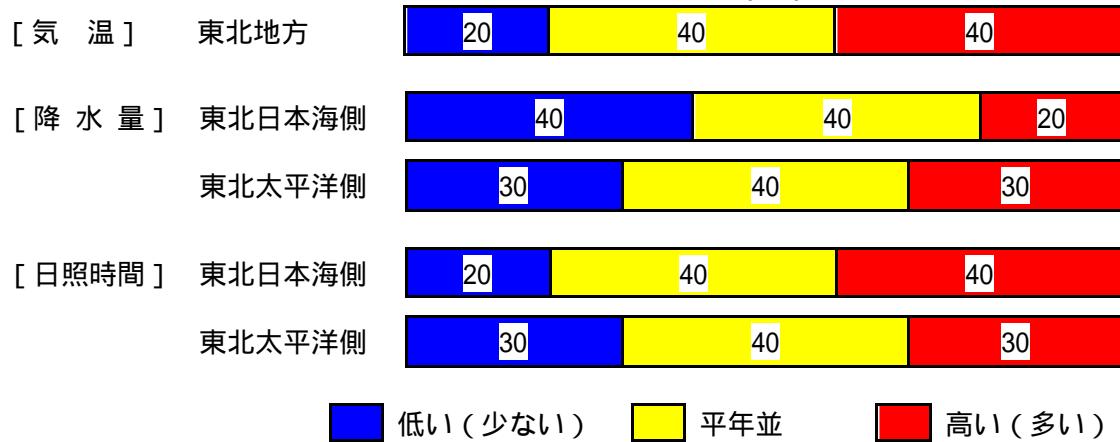
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わりますが、期間の初めは前線や気圧の谷の影響で天気のぐずつぐずつ時期があるでしょう。

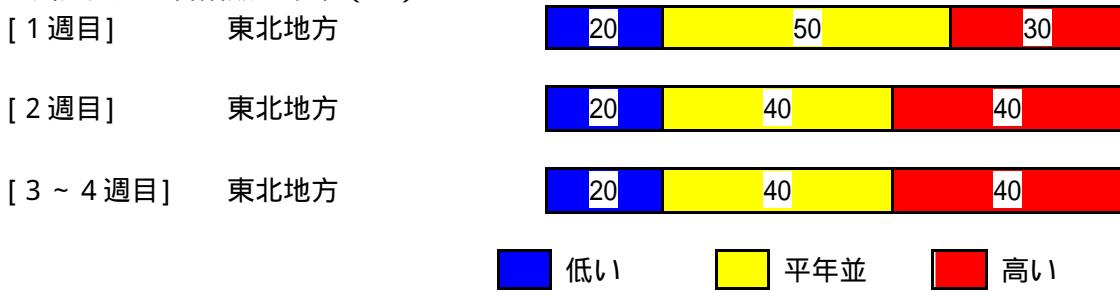
向こう1か月の平均気温は平年並か高い、降水量は東北日本海側で平年並か少なく、東北太平洋側で平年並、日照時間は東北日本海側で平年並か多く、東北太平洋側で平年並でしょう。

週別の気温は、1週目は平年並、2週目は平年並か高い、3~4週目は平年並か高いでしょう。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 9月 4日(土)~10月 3日(日)
1週目 : 9月 4日(土)~ 9月 10日(金)
2週目 : 9月 11日(土)~ 9月 17日(金)
3~4週目 : 9月 18日(土)~10月 1日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は9月10日

3か月予報:9月22日(水) 14時00分

寒候期予報:9月22日(水) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	18.8	218.0	122.1	20.7	19.5	17.8
新庄	18.4	152.8	112.2	20.9	19.4	17.1
若松	19.3	131.7	122.6	21.8	20.2	18.0
深浦	18.5	171.5	155.1	20.6	19.3	17.5
青森	18.3	118.0	160.8	20.5	19.1	17.1
むつ	17.4	170.1	146.9	19.4	18.2	16.5
八戸	18.1	159.6	145.4	20.0	18.9	17.0
秋田	19.3	173.8	155.3	21.6	20.1	18.1
盛岡	17.7	152.8	127.1	20.1	18.6	16.5
宮古	18.0	226.4	125.6	19.9	18.8	17.1
酒田	19.9	181.4	148.9	22.1	20.7	18.8
山形	19.1	131.9	125.7	21.6	20.0	17.8
仙台	19.8	212.4	121.2	21.8	20.5	18.8
石巻	19.4	163.0	133.9	21.4	20.1	18.3
福島	20.2	168.9	114.3	22.5	20.9	19.0
白河	18.5	212.8	111.7	20.8	19.3	17.3
小名浜	20.8	205.4	133.8	22.6	21.5	19.8

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5~+0.2	86~112	94~108
東北日本海側	-0.6~+0.3	88~113	94~108
東北太平洋側	-0.5~+0.2	87~112	92~109

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.8~+0.6	-0.7~+0.5	-0.5~+0.3
東北日本海側	-0.8~+0.7	-0.8~+0.5	-0.6~+0.3
東北太平洋側	-0.7~+0.7	-0.6~+0.4	-0.5~+0.4

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率(階級の定義から各階級とも同じで33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成16年9月3日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(9月4日~10月3日):

天気は数日の周期で変わりますが、期間の初めは前線や気圧の谷の影響で天気のぐずつく時期があるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1週目(9月4日~9月10日):

前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多いですが、東北北部では期間の初めは晴れる日もあるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(9月11日~9月17日):

天気は数日の周期で変わり、東北地方は平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3~4週目(9月18日~10月1日):

天気は数日の周期で変わり、東北日本海側では平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か高いでしょう。

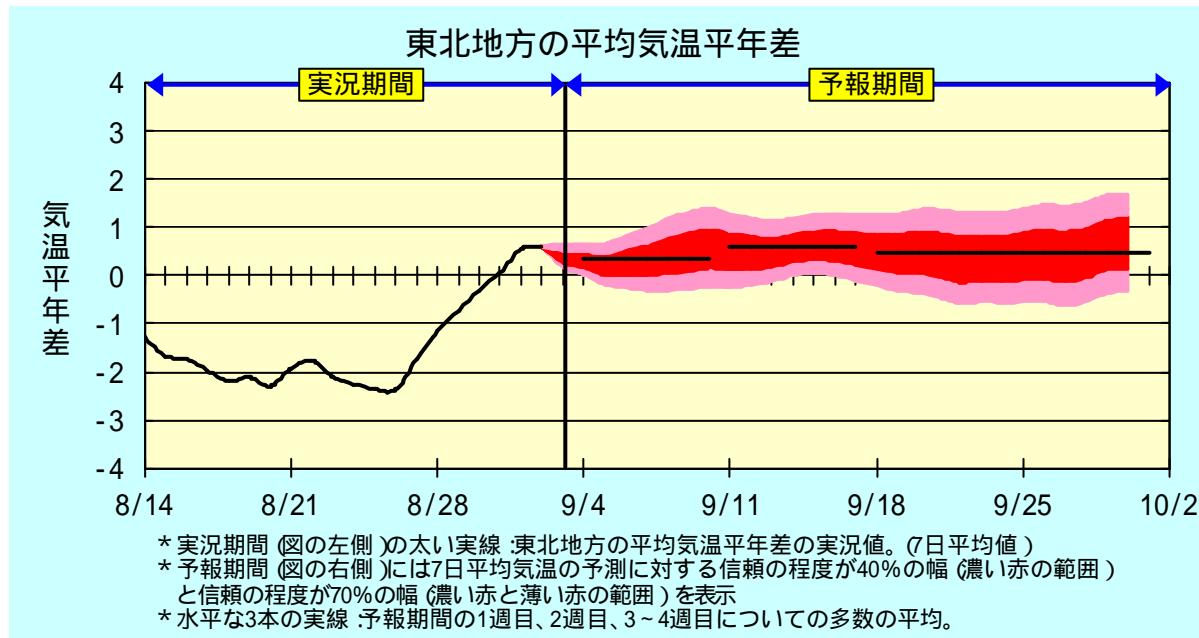
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	13.3日	3.3日	3.3日	6.7日
東北太平洋側	12.3日	2.8日	2.8日	6.7日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目を「平年並」、2週目と3~4週目を「高い」と予想している。予報は、その他の資料から2週目、3~4週目を「平年並か高い」に変更する。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

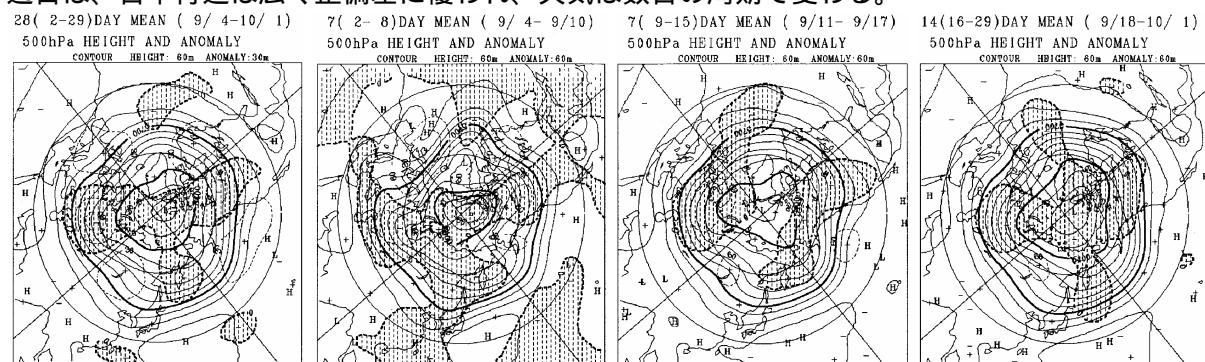


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、日本付近はバイカル湖付近に中心を持つ正偏差に広く覆われる。日本の南の亜熱帯高気圧も正偏差で平年より強い。偏西風の流れは順調で、天気は数日の周期で変わるが、日本の西が気圧の谷となっており、前線や気圧の谷の影響で天気のぐずつく時期がある。

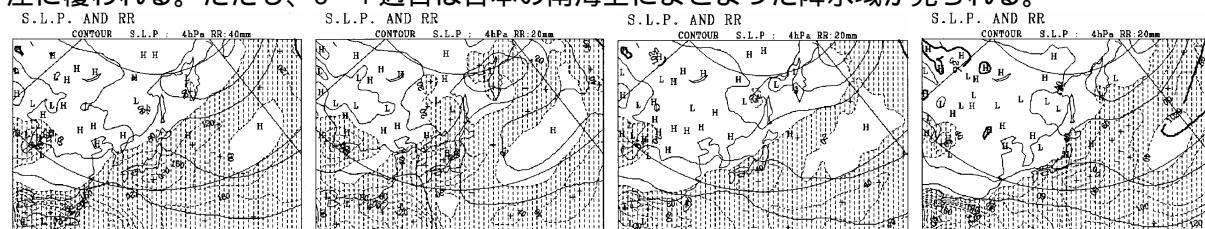
1週目は、日本の西が深い気圧の谷となって前線や気圧の谷の影響を受けやすい。2週目、3~4週目は、日本付近は広く正偏差に覆われ、天気は数日の周期で変わる。



地上気圧と降水量：

月平均では、等圧線の間隔はまばらで、天気は数日の周期で変わる。日本の南海上を中心にまとまった降水域が見られる。

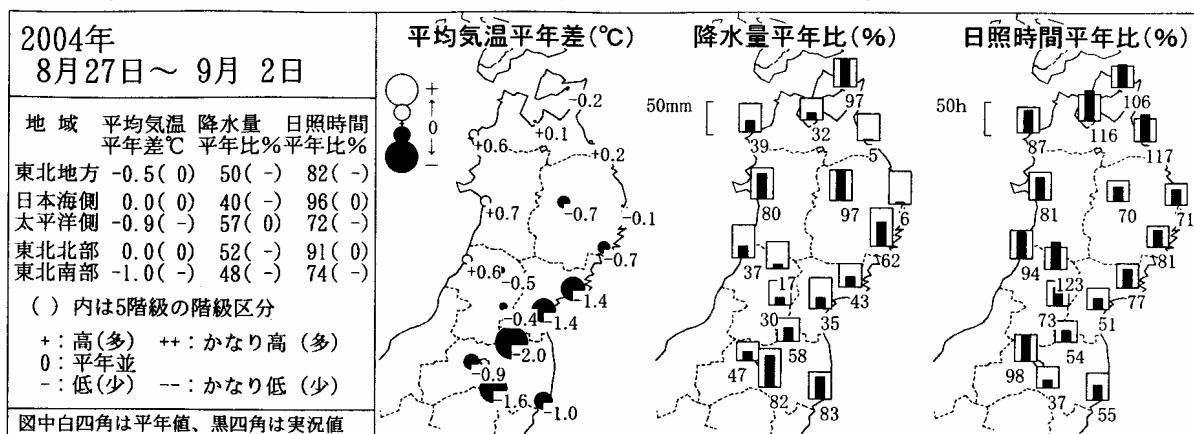
1週目は、本州付近にまとまった降水域がかかる。2週目、3~4週目は、北日本は帯状の高気圧に覆われる。ただし、3~4週目は日本の南海上にまとまった降水域が見られる。



4. 最近1週間（8月27日～9月2日）の天候の経過

天気は数日の周期で変わったが、期間の初めはオホーツク海高気圧の影響で東北太平洋側は曇りや雨となった。30~31日は、台風第16号が日本海を北東に進んで東北地方に接近したため各地で暴風となり、農作物などに大きな被害が発生した。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で低い。降水量は東北日本海側で少ない、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）